

指導展開例 危機管理対策室作成リーフレット「地しんのそなえ」を活用した授業	小学校
	第2学年
	学級活動

1 教科・学年 学級活動 (2) 第2学年

2 題材名 「大きな地しんにそなえよう」

3 授業の位置付け

毎年、各小学校に送付されるリーフレット『地震の備え』(危機管理対策室作成)を活用した学級活動(2)の授業である。地震を想定した避難訓練の実施時期に合わせて授業を行うとよい。

4 本時の目標

大きな地震でどのようなことが起こるかを予想し、どのような場所にいたとしても自分の身を守るための安全な行動の仕方を意思決定することができる。

5 本時の展開



	子どもの学習活動	教師のかかわり
つかむ	<p>1 大きな地震でどのようなことが起こるかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『地震発生時のまちがいさがし』の絵を見て、間違った行動を見付ける。</li> <li>『地しんのそなえ』(リーフレット)を見ながら、建物の外や中でどのようなことが起こるかを知る。</li> </ul> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>大きな地震が起こったとき、どのように行動するとよいのかな？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『地震発生時のまちがいさがしクイズ』を出題する。</li> <li>リーフレットの写真や「地震のゆれの強さと被害予想」の部分拡大して黒板に貼り、イメージを膨らますように説明する。</li> <li>本時の課題を板書する。</li> </ul>
さぐる	<p>3 学校で大きな地震が起こったら、どのようなことが起こるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室の中で起こることを考えて発表する。</li> </ul> <p>※3の次は「見付ける」の4に進む。</p> <p>5 家にいる時に大きな地震が起こったら、どのようなことが起こるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家の中で起こることを考えて発表する。</li> </ul> <p>※5の次は「見付ける」の6に進む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットを活用しながら「学校」「家」の二つに分けて、どのようなことが起こるかを具体的に考えるように問いかける。</li> </ul>
見付ける	<p>4 学校で大きな地震が起こった時の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室や廊下、特別教室での身の守り方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「さぐる」段階で考えた具体的な状況を踏まえて、「学校」「家」での安全な行動の仕方を考</li> </ul>

**セルフチェック1**  
(興味・関心、疑問をもてる)

「地震発生時のまちがいさがしクイズ」を出題し、間違った行動を見付ける活動を通して興味・関心を高める。

**セルフチェック2**  
(意欲が持続する)

「学校→家→登下校時」という順番で地震の発生場所を変えていくことによって、「はてな」が持続するようにする。

**セルフチェック3**  
(見通しをもって追究)

「どのようなことが起こるか」についてのイメージをもつようにした上で、「どのように自分の身を守るとよいか」を考えるように展開する。

見付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「机の下にもぐって、机の足をおさえて、頭と体を守る」を実際にやってみることで実感を持って理解する。</li> <li>※4の次は「さぐる」の5に戻る。</li> <li>6 家にいる時に大きな地震が起こった場合の自分の身の守り方を考える。</li> <li>・部屋や台所での身の守り方を考える。</li> <li>・トイレやお風呂に入っていた時の安全な行動の仕方について考える。</li> <li>7 登下校時に大きな地震が起こった時の自分の身の守り方を考える</li> <li>・どのようなことに気を付ければよいかを考える。</li> </ul>	<p>えるように問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に「机の下にもぐって、机の足をつかむ」という行動を体験する場を設定する。</li> <li>・「学校」「家」以外の場所での安全な行動の仕方について考えるように、「登下校時に大きな地震が起こったらどうするか」と問いかける。</li> </ul>
決める	<p>8 学習したことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>安全な場所を見つけて、しゃがんで地震が収まるのを待つといいだね。</p> </div> <p>9 大きな地震が起こった時にどのように行動するとよいかを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な行動の仕方を意思決定してカードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな地震が起こった時にどのように行動すればよいかを意思決定できるように、カードに書く場を設定する。</li> </ul>

**セルフチェック4**  
(協働して活動)  
「どのように身を守るとよいか」を考える場で、必要に応じてペア交流を取り入れる。

**セルフチェック5**  
(多面的・多角的に追究)  
学校や家ではない場所でも地震が起こる可能性があるため、「登下校時の場合」に限定して、「どのように行動するとよいか」を考える場を設定する。

**セルフチェック6**  
(学びのよさの実感)  
「大きな地震が起こった時にどのように行動するか」を意思決定し、カードに書く場を設定する。

## 6 実施のポイント

低学年なので「机の下にもぐって、机の足を(対角線に)つかむ」体験活動を取り入れ、体感を伴って正しい知識を獲得するようにした。

## 7 資料

○『地しんのそなえ』(小学校1・2年生用) [危機管理対策室作成]

## 8 板書

The board is titled "大きな地震" (Big Earthquake) and "いしんがきたらどうやってこうどうするの" (What to do when an earthquake comes). It is divided into three main sections: "学校では..." (In school...), "家では..." (At home...), and "どう下校 ほうかごでは..." (How to go home / In the neighborhood...). Each section lists specific actions and safe spots. There are also illustrations of children and buildings.

**つかむ** まちかいはどこ? **大きな地震** いしんがきたらどうやってこうどうするの

**学校では...**

- たおれる うごく
- おちる われる
- 立てない とんでくる

**家では...**

- テレビ・たな・れいぞうこ
- タンス・ベッド・おもちゃ
- しょっき・道ぐ

**どう下校 ほうかごでは...**

- かべ・やね
- どうろ・木
- 電ちゅう

**さぐる** おどって 火をつけ

**きめる** どこでも、何があせんか考えてうごく